

第1章. 経済分野

第1講. 資本主義経済原理

資本主義経済原理

○経済とは・・・

お金

モノ (財・サービス)

○経済体制

資本主義 \longleftrightarrow 社会主義

○資本主義経済の時代区分

産業資本主義 (～1900頃)

↓

独占資本主義 (1900頃～1929)

↓

修正資本主義 (1929～)

○産業資本主義

資本

生産手段 (土地・労働力)

商品

利潤

自由競争であることが特徴

メリット①技術革新による経済発展

- ・シュンペーター (奥→米)

②資源の適正配分

- ・アダム＝スミス (英)

「神の見えざる手」

(『諸国民の富』(『国富論』))

問題

アダム＝スミスは欲望を肯定的に捉え、による経済の調和的發展を説いた。にあてはまる最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。【91年・センター追試験】

- ① 見えざる手 ② 階級闘争
- ③ 科学の進歩 ④ 宗教改革

○独占資本主義

- ・資本の集中…有力企業が弱小企業を吸収・合併
- ・資本の集積…有力企業が利潤を蓄積, 規模拡大

↓

独占市場形成

弊害…自由競争の制限→経済の活力減退

1929 世界恐慌…倒産・失業者大量発生

ニューヨーク・ウォール街の証券取引所において, 株価の
大暴落 (暗黒の木曜日)

マルクス(独)『資本論』→社会主義(計画経済)

○修正資本主義

- ・ケインズ(英)『雇用・利子及び貨幣の一般理論』

有効需要(実際の貨幣支出を伴う需要)が必要

↓

政府の積極的公共投資を起点に有効需要拡大

↓

景気回復

夜警国家(安価な政府)→福祉国家(大きな政府)

○ニューディール政策(1933～, ルーズベルト) → ケインズ経済学の実践

① 全国産業復興法 (N I R A)

生産拡大・労働政策(団結権・団体交渉権)

大統領に産業統制の広範な権限

② ワグナー法 (全国労働関係法)

N I R Aで保障した労働者の権利を継承

③ テネシー渓谷開発公社 (T V A)

公共投資政策の中心事業

④ 農業調整法 (A A A)

⑤ 社会保障法

失業保険・老齢年金が主

問題

社会上の様々な不安は、社会的に解決されなければならないという考え方に基づいて、国家のあり方が夜警国家から大きく変化した事例の記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。【03年・センター本試験】

- ① 選挙権を獲得した産業資本家は、土地所有者の保護を目的としていた穀物法を廃止し、自由貿易を推進する基礎を築いた。
- ② 大恐慌期に生み出された大量の失業、生活困窮や生活不安などに対し、政府は失業保険などを含む社会保障法を制定した。
- ③ 財政危機の深刻化に対処するために、政府は民営化と規制緩和によって市場の活性化を促し、国防と治安重視の公共政策を実行した。
- ④ 国内の経済混乱に直面した政府は、国民経済の中枢を握りながら、資本主義的要素を一部容認することで、経済基盤を立て直そうとした。